

着任の挨拶 よろしく お願いします



【花井 恵未】

この度、縁があって厚真中学校に赴任してきました。まだ何も分らず緊張の日々が続いています。この明るくて笑顔あふれる厚真の元気な生徒たちとともに、自分自身も成長しながら全力で頑張っていく所存です。大切にしたいことは、思いやりの心、感謝の気持ち、そしてチャレンジすることです。保護者の皆様、そして地域の皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします。

いことは、思いやりの心、感謝の気持ち、そしてチャレンジすることです。保護者の皆様、そして地域の皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします。



【蝦名ひとみ】

産休・育休を終え、復職することとなりました。2年間の休暇を厚真町で過ごし、子どもを通して地域の方々となることができました。身近に相談することのできる人、環境があることの心強さを改めて感じた2年間でした。厚真中学校の子どもたちが時に悩むことがあっても、安心して自分なりに考え、学び、成長していくことができるよう、共に精一杯過ごしていきたいと思

真中学校の子どもたちが時に悩むことがあっても、安心して自分なりに考え、学び、成長していくことができるよう、共に精一杯過ごしていきたいと思

授業公開・学年懇談

4月15日(木)の授業公開・学年懇談会へのご参加ありがとうございました。PTA総会は書面会議となりましたが、新PTA役員が決定し、本格的にPTA活動が始動することになります。保護者の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

新PTA役員(敬称略)

会長	寺坂 康生	伊藤 真希
副会長	丸山 聡史	中島 巧
監査	宮副千栄美	

【五十嵐裕幸】

今年の4月に赴任して参りました五十嵐裕幸と申します。本校が3校目の勤務となります。前の学校では特別支援学級を担当し、今年度も厚真中学校の特別支援学級と、1年生の数学を担当します。厚真町はとても人も食べ物も最高だと聞いてきました。1日でも早くこの地に慣れ、色々な面で貢献できるようになりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新連載 『私が中学生だった頃～厚中OB編①』

今年度から、新しい連載がスタートします。町内の様々な方に中学生時代を振り返っていただき、当時の学校生活と比較しながら、現在の中学生にメッセージを伝えていただこうと考えています。最初に登場いただくのは、中学から高校、大学とスピードスケートに打ち込み、現在、本校で学習支援員として勤務されている内沢さんです。

—— 当時の中学校の様子は？

○私の学年は1学級で26人だったので、学校の人数は今とあまり変わりませんね。でも部活動はバレー部やサッカー部もあって、私はバレー部とスケート部に所属していました。

—— 中学校生活で印象に残っていることは？

○3年生の体育大会の団体競技「しばって走れ」ですね。クラスのメンバーが足を繋いで走るのですが、クラスにハンディキャップがあって走るのが苦手な生徒がいて練習が大変でした。それでも当日、全員でゴールできたときは本当に嬉しかったですね。

—— 当時の中学校ではどんなことが流行っていましたか？

○ジャニーズ Jr.の番組があって、嵐のメンバーや生田斗真さんが出ていて、クラスで盛り上がっていました。個人的には、沖縄のアイドルグループ SPEED が好きでした。

—— 中学生へのメッセージをお願いします。

○厚真の子どもたちは小学校から中学校を卒業するまで9年間の付き合いがあり、絆が深く家族に近い存在かも。私は今でも時々中学校時代の仲間と集まります。中学校ではケンカやトラブルもあると思いますが、今だからこそ自分をさらけ出したり、真剣になれることがあると思います。この時間を大切にしてください。

内沢(旧姓大塚) さなえ さん

平成15年厚真中学校卒業

中学校卒業後、苫小牧工業高校、日本体育大学へと進み、スピードスケートで活躍。大学4年生でオリンピック最終選考会に出場。平成23年に北海道へ戻り、教育委員会や学校での事務職、厚真町放課後児童クラブ等での勤務を経て、平成30年4月から、厚真中学校学習支援員。厚真町在住。2児の母。



〈全国中学校スケート大会で活躍する内沢さん〉